

第 15 回 番外編

在ロンドン(英国)開発学専攻自主勉強会 Intercollege Development Discussion Panel(IDDP)について

皆さんはじめまして。

IDDP という団体をご存知でしょうか？これはロンドンを活動拠点として、英国に在住する開発学、開発関連分野を勉強する日本人学生が中心として組織した、自主的な勉強会の略称です。今回はイギリス通信の番外編ということで、私自身が所属するコースの紹介や特定の開発分野に関する内容とは別に、私が世話人として所属しているこの勉強会、すなわち在ロンドン(英国)開発学専攻自主勉強会(Intercollege Development Discussion Panel(通称:IDDP))の活動についてご紹介させていただきます。

IDDP は、複合領域的かつ実学的性格を帯びている開発学について、所属するコースとは異なる他分野の内容、及び開発実務内容を聴講することにより、とかく専攻集中的でかつ理論的になりがちな各人の学習を補完する目的で、ロンドンで勉強している日本人学生の有志が中心となりスタートしました。

ロンドンを拠点にした IDDP は、毎月1回勉強会を開催し、これまで JICA、NGO 等で開発援助に携わってこられた、また現在第一線で活躍されておられる様々な分野の実務者や、現役大学院生からの講演等を行ってきました。(「開発における交通分野について」、「NGO の緊急援助活動の実際」、「ガーナにおける援助協調の動向」、「東チモール:3つの WHY」等)

これまでロンドン、サセックス、その他の地域から毎月平均40名から50名の大変多くの方々に参加していただいています。参加者は使用言語が日本語ということもあり、ほぼ100%日本人ですが、学生のみならず社会人や開発学とは関係のない分野の方々も多数参加していただいています。また、勉強会終了後の懇親会では、異なる分野・世代の方々とお互いの知識や経験を気軽に情報交換などを行い、各人の人的ネットワークの構築にも寄与できる場を設けています。

現在、IDDP はその活動範囲を広げ、講演会形式のみでなく、より学生らしさを前面に出した内容を企画・実施に至っています。具体的には、小グループに分かれ特定の開発テーマ(ジェンダーと開発等)をワークショップ形式でディスカッションを行い、また学生各人の卒業論文テーマの発表会等も行っています。併せて、このイギリス通信との連携をはじめ、他団体の活動とのネットワークを広げています。

英国において(“英国にも”と言った方が正しいと思いますが。)自身の専攻を勉強する意外にも異分野の共に開発の勉強を志す仲間との出会い、ほかではあまり聞けない途上国援助の経験を目前で聞き、議論することにより、多くの刺激を受けることの出来る環境が身近にあるということは大変有意義であ

ると考えています。参加者がこの勉強会に参加してみて少しでもよかったなと思っていただけることをスタッフである私自身も含め、参加者でつくる勉強会の目標の一つと考えています。もしご関心を持っていただけたらぜひ気軽に IDDP 勉強会にご参加ください。今後とも IDDP の活動についてご支援・ご協力をよろしく申し上げます。
それではまた勉強会会場で。

2004 年 4 月 11 日

梶 英樹

在ロンドン(英国)開発学専攻自主勉強会 世話人総括

(Intercollege Development Discussion Panel(IDDP))

School of Oriental African Studies

University of London